

う お づ ち ゅ う お う
魚津中央地区
 (富山県魚津市)

- 計 画 期 間 平成 16 年度～平成 20 年度
- 面 積 144 h a
- 交付対象事業費 466 百万円
- 市人口 40,298 人

ポイント 賑わいとやすらぎのあるまちづくり

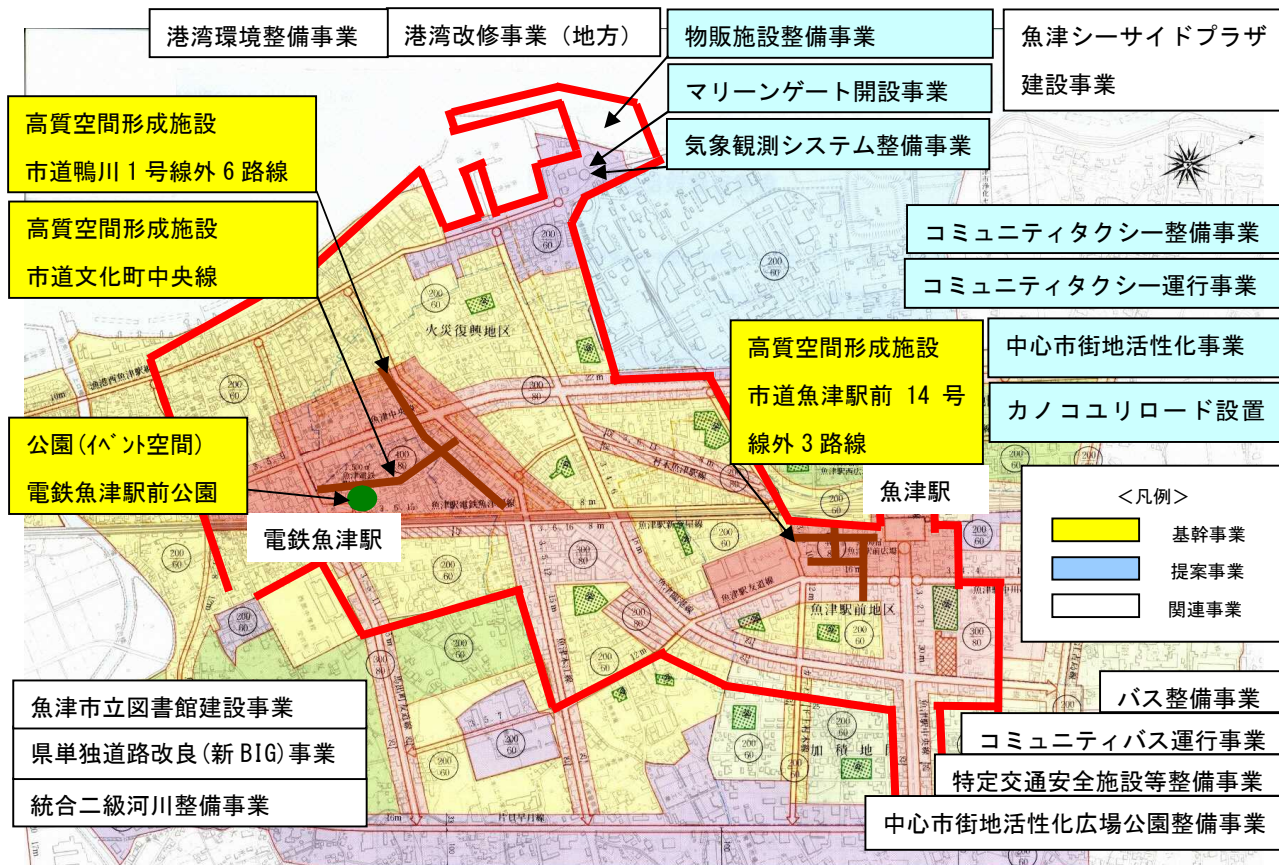
地区概要 外来者の中心市街地へのスムーズな誘導、コミュニティタクシーの運行やバスの整備、回遊性を高めるための駅前や鴨川沿線の歩道美化、公園施設の整備等を行い、当該地域の活性化を図る。

目 標 地域の特色である「蜃気楼」や「たてもん祭り」などを活かした商業の活性化と観光の役割も果たす中心市街地を目指す。

指 標 交通手段の確保、新たな賑わいの創出、歩行空間の形成、イベント空間の創出による相乗効果を見込んだ指標とした。

・郊外部から中心市街地への来街者数の増加	7,812 人(H15) → 10,936 人(H20)
・観光地への来客数の増加	67,862 人(H15) → 81,434 人(H20)
・中心市街地の施設利用者数の増加	39,733 人(H15) → 47,679 人(H20)
・イベント開催数の増加	16 回(H15) → 24 回(H20)

事業内容 基幹事業(352 百万円) →高質空間形成施設(カラー舗装等 L=1,950m)、公園(パーゴラ 1 基)
 提案事業(114 百万円) →物販施設整備事業(A=2,000 m²)、マリーングート開設事業(1 箇所)、中心商店街活性化事業、コミュニティタクシー運行事業(社会実験)、気象観測システム整備事業(1 箇所)、カノコユリロード設置事業



完了地区 富山県

地区の現況と課題

- ・衰退した飲食店街、商店街を活性化するため、観光スポットからの来街者にもアピール出来る魅力ある市街地づくりが必要である。
- ・道路環境に対する市民ニーズが多様化・高度化し、地区内幹線道路の整備を進めてきたところであるが、これらを補完する細街路が未整備であり、居住者などにとっても愛着もてる歩行空間の形成が必要である。



閉店した店舗が多い中央通り商店街

提案事業の特徴

物販施設整備事業

地方港湾魚津港北地区埋立地の一部を魚津市で購入し、観光、農林漁業、商業の発展に大きく寄与することが期待されている(株)シーサイドプラザ物販施設の建設用地として貸与する。



埋没林博物館マリンゲート開設事業

地方港湾魚津港北地区埋立地からの入場ゲートを新設することで物販施設と相乗効果が生まれ賑わいを創出する。



コミュニティタクシー運行事業

郊外⇄中心市街地の5ルートをジャンボタクシーで通年運行することで中心市街地への来街者数の増加を計り賑わいを創出する。



賑わう海の駅 蟹気楼でのイベント

計画策定プロセス

魚津駅前地区住民アンケート調査

「魚津駅前地区景観整備計画検討委員会」、「鴨川周辺整備懇談会」、「これからの鴨川の川づくり懇談会」の開催、魚津駅前地区住民アンケート調査の実施により、地域の課題等の意見を集約し、事業実施計画に反映している。

啓発活動

市商工会議所が中心となり「魚津市元気街づくり事業実行委員会」を設立し、歩行空間整備地域の愛称募集キャンペーン等が行われた。



継続的なまちづくり活動

魚津市商工会議所Uービジョン策定委員会と市関係職員による「夜なべ談義」の開催や、同青年部の地域委員会が中心となって「魚津の街づくり」をテーマに勉強会を重ねて魚津市の活性化を模索し始めるなど、まちづくりの機運の高まりが感じられる。



▲ 夜なべ談義の様子